

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	遊具などの設置ができる場所の検討などしていきたいです。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	適切である。配置加算も取得している。その日のプログラム内容やお子様の状況等により適宜人員の増員配置などをおこなっていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	玄関に段差がある。スロープ設置などの必要の有無など検討していきます。外に砂利を敷いていることについては、お子様が投げたりする危険がまだ見受けられる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	毎年頂く保護者意見を翌年度の事業計画に織り込み実施につなげています。就学前の勉強会の実施(先輩家族の話を聞く場など)今年度いただいた意見も来年度につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	9	外部評価はまだ取り入れることができていません。適宜相談支援事業所などにもご意見をうかがいながら、業務改善に努めていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	オンライン研修などを取り入れ、全員に研修を受ける機会を作っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	事業所独自でアセスメントツールを作成していますが、職員全員がアセスメントへの共通認識ができていないことが分かりました。今後アセスメントについての学びの場を設ける等していきたいと思います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	年齢別の担当者でプログラム立案をおこなうことができています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	週別にプログラムの作成をし、様々なプログラムを実施できていると考えています。また土曜日には別プログラムをおこなっており、希望者に利用いただけています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	毎回、支援の目的やその内容、個別にお子様の様子を見る視点など共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	終了時の振り返りは全体では難しいです。お子様についていた職員とリーダー職員で必要時には個別で振り返りをおこなっています。翌朝朝礼時に実施するなど工夫していきます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	活動目的に応じた記録を取ることで、振り返ることができ、支援の改善等につなげていっています。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	担当の職員と児発管で検証をおこなって、改善へつなげています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	保育所等への入園時などの際は、情報提供をおこなうようにしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	保護者様の同意を得て、情報提供書を作成し、就学先に提供しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	センター主催の研修等はこれまでなかったと思います。他の事業所との連携などは適宜おこなっています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	5	就園しているお子様がほとんどであり、園で交流ができていますと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	0	参加の要請があった際には参加できています。(現在オンライン等での参加)
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	7	2	家族が集合してのペアレントトレーニングの場は作れていない。都度都度個別にお伝えしたり、事業所独自で作成している一人一人のお子様の成長の記録等を通じて、共有する機会を設けています。来年度は家族支援プログラムの支援を実施したい
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	親子通園(年少未満)や、就学前の勉強会などを実施できていますが、父母の会等の設置支援や活動支援には至っていません。まだ不十分であると感じています。まずは保護者様と同士の学びや語りの場を作っていきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	毎月、あかり便りという名称で、保護者様への文書配布をおこなっています。また適宜連絡体制についても、配布文書等に記しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2	なかなか実施できていない状況がありますが、鹿屋市ボランティアセンターの協力で読み聞かせボランティアの方にも来ていただき、青空カフェを実施しました。来年度も実施予定です。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	マニュアルは作成し、適宜更新を行っています。保護者の方が見られるように、あかり入り口に置いてあります。広報誌などを通じて、マニュアルがあることについてもお知らせしていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	今年度は、地震を火災想定した避難訓練をお子様職員で実施しました。来年度以降もプログラムに入れて、実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	保護者からの聞き取り等によって必要事項は聞き取っています。現在はてんかんのあるお子様はおりませんが、利用される場合には、発作が起きた時の対応など職員間で共有し実施します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	利用時の聞き取りで、保護者様から情報収集をしています。基本食べ物はありませんが、イベント時など再度アレルギーの有無や注意点を聞いて対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	事例集作成にはいたっていませんが、ヒヤリハットが起きた場合には職員間で共有し、都度対応を検討しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	研修の機会を設けています。狭義の虐待という視点ではなく、不適切と思われる支援や対応についても学んでいます。また、報道などされている虐待事件なども共有するようにしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	0	これまで、やむを得ず身体拘束をするといったことはありませんでした。万が一実施を検討する際には身体拘束廃止等委員会等を開催し組織的に実施することなど、重要事項説明書等に明記しています。